

## 第1回懇談会における各委員の意見等要旨及び対応等について

分野	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に救急医療の崩壊により、病院の閉鎖、診療科の閉鎖、医師の引き上げが盛んに行われている。救急医療を確保していくには、市民、行政、病院が一体とならなければ維持・確保していくことはできない。</li> <li>これまで斜網地区には二次救急医療に関する制度がなかったが、昨年から各自治体に働きかけて、今年8月を目途に二次救急医療体制が確立できる見通し。</li> <li>大学病院から派遣された医師の定着を図るためには、医師にとって住み甲斐のある、魅力あるまちであることが重要。医師の定着が、地域医療の充実に繋がっていく。</li> </ul>	
広域観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>女満別空港を核とした国内外の観光客を誘致する努力を続けていかなければ、地域の観光資源は続かないだろう。</li> <li>広域観光に向けて、どのような観光資源ができるかが課題であり、両市町の観光協会が連携しながら考えてみてはどうか。</li> </ul>	
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>土を大事にする農業は流域環境に優しく、漁業にも良いこと。環境と農業、漁業、市民生活は全部繋がっている。環境は地域の生き残り戦略であると考えているので、共生ビジョンに反映してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流域環境の保全の取組については、協定書の環境の分野で反映することができる。</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>両市町間を移動する利用者の送迎を、両市町のボランティアが情報を共有し、連携が図られるのではないか。</li> <li>以前から、保育所の広域入所や子育て支援センターの広域利用が行われている。これを契機に、福祉サービスの分野での連携を考えていきたい。</li> </ul>	

分野	意見等要旨	共生ビジョンにおける対応等
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両漁協と津別町農協の3者で取り組んでいる「網走川流域における農業と漁業の持続的発展に向けた共同宣言」を、ゆくゆくは大空町や美幌町にも広げていきたいと考えている。については、農業も漁業と同様に産業としてひと括りに考えてもらいたい。</li> <li>・課題は、一次産業の方と地域で付加価値をどう高めていくかということ。</li> <li>・商工会議所と商工会が連携するとなると、スタッフも少ないので、具体的にテーマを絞った中で取り組むことが必要。地元産ブランド商品の開発や販路拡大など、探るべき方向は見えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章の「2. 圏域の現況」に「農業の推移」を追加記載する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両市町の様々なイベントで、地元製品のPRが行われている。付加価値を高めるためにも宣伝事業は非常に重要であると考えているが、人員や経費の面で負担もあることから、両市町が連携して効率的な宣伝事業が行われればと期待している。</li> <li>・企業も含めて地域が子育て支援をしっかりと、地域の人口が減らないようにする。地域の活性化を高め、豊かな地域に育てていく取組みを広げていくことが課題。</li> <li>・観光であれば、情報を発信しなければ集客ができない。医療現場の状況も、情報を発信することにより、住民に気づいてもらえる。情報の発信が重要である。</li> <li>・行政側からもっと情報提供がされれば、その情報を活用して、自分達の地域活動を行っていきける。</li> </ul>	